

令和2年度
令和7年度

着
計

手
画 変 更

県 営 土 地 改 良 事 業 計 画 書

県 営 特 定 農 業 用 管 水 路 等 特 別 対 策 事 業

(坂 祝 東 部)

県 名 岐 阜 県

地 区 名 坂祝東部地区

事 業 主 体 岐 阜 県

目次

第1章	目 的	1
第2章	地域及び地積	1
第1節	地 域	1
第2節	地 積	1
第3章	現 況	2
第1節	気象及び海象	2
	1. 一般気象	2
	2. 特殊気象	2
	3. 海 象	3
第2節	土地状況	3
	1. 土地、土壌及び侵食の程度	3
	2. 土地分類	5
	3. 土地利用の状況	6
	4. 土地所有の状況	7
第3節	水利状況	8
	1. 用水状況	8
	2. 排水状況	12
	3. 河川状況	15
第4節	道路現況	16
	1. 道路概況	16
	2. 主要道路一覧表	16
第5節	地域農業の概況	17
	1. 産業別就業人口	17
	2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数	18
	3. 動力農機具及び主要家畜頭数	18
	4. 主要作物作付状況	19
	5. 農業の動向	20
第6節	地域環境の概況	20
第4章	一般計画	21
第1節	事業計画の要旨	21
	1. 要 旨	21
	2. 事業別面積	21
第2節	営農計画及び土地利用計画	22
	1. 営農計画の概要	22
	2. 土地利用区分	22
	3. 作付方式	23
	4. 生産計画	24
	5. 労働改善計画	25
	6. 級地別土地利用区分	26
	7. 土地配分計画	26

第3節	用水計画	27
	1. 計画基準年	27
	2. 計画かんがい方式	27
	3. 計画用水系統	27
	4. 計画用水量	29
	5. 水源計画	30
第4節	排水計画	32
	1. 計画基準雨量	32
	2. 計画排水方式	32
	3. 計画排水系統	32
	4. 計画排水量	33
	5. 排水対策	33
	6. 湛水検討	34
第5節	道路計画	35
	1. 道路及び索道	35
	2. 路線配置図	36
第6節	農用地造成計画	36
	1. 農用地造成計画	36
	2. 土壌改良	37
第7節	洪水調節計画	37
	1. 計画基準雨量	37
	2. 計画洪水量及び調節量	37
	3. 貯水池	37
	4. 洪水調節検討	38
	5. 管理計画	38
第8節	干拓計画	38
第9節	農用地整備計画	39
	1. 区画整理	39
	2. 暗渠排水	39
	3. 客 土	40
	4. 農地保全	40
第10節	老朽ため池改修計画	41
	1. 洪水吐改修計画	41
	2. 堤体補強計画	41
	3. 取水施設改修計画	41
第5章	主要工事計画	42
第1節	用水施設	42
	1. 貯水池	42
	2. 頭首工	42
	3. 揚水機	42
	4. 用水路	43
	5. その他かんがい施設	43

目		次
第2節	排水施設 -----	43
	1. 排水水門 -----	43
	2. 排水機 -----	44
	3. 排水路 -----	44
	4. その他排水施設 -----	44
第3節	道路及び索道 -----	45
	1. 道路 -----	45
	2. 索道 -----	46
第4節	農用地造成 -----	46
	1. 農用地造成 -----	46
	2. 土壌改良 -----	47
第5節	洪水調節施設 -----	47
	1. 貯水池 -----	47
	2. 頭首工及び導水施設 -----	47
第6節	干拓施設 -----	48
	1. 堤防 -----	48
	2. 潮止め -----	48
	3. 付属施設 -----	48
	4. 埋立 -----	48
第7節	農用地整備施設 -----	49
	1. 区画整理 -----	49
	2. 暗渠排水 -----	49
	3. 客土 -----	50
	4. 除礫 -----	50
	5. 農地保全 -----	50
第8節	老朽ため池改修施設 -----	51
	1. 貯水池 -----	51
	2. 堤体補強施設 -----	51
第6章	附帯工事計画 -----	51
第7章	工事の着手及び完了の予定時期 -----	52
第8章	環境との調和への配慮 -----	52

第9章	換地計画の概要 -----	52
第1節	換地計画を作成する上での基本的な考え方 -----	52
第2節	換地区の設定 -----	52
	1. 換地区の名称、所在、面積 -----	52
	2. 換地区を設定する理由 -----	52
第3節	換地計画樹立の基本方針 -----	52
	1. 従前の土地の面積の基準 -----	52
	2. 用途別予定地積 -----	53
	3. 農用地集団化の方針 -----	54
	4. 非農用地の換地方法 -----	54
第4節	土地の評価法及び精算の方法 -----	54
	1. 評価の方法 -----	54
	2. 精算の方法 -----	54
第5節	換地計画樹立の年度計画 -----	54
第6節	換地処分 of 時期に関する特則 -----	54
第10章	事業費の総額及び内訳 -----	55
第11章	効 用 -----	56
第12章	関連する事業 -----	56
第13章	現況・計画図面 -----	56

第1章 目 的

(1) 必 要 性

当該用水路管は、昭和47年～平成2年にかけて「県営圃場整備事業木曽川右岸西部二期地区」により施工された施設であり、地区内一帯の用水供給施設として重要な役割を果たしている。

しかしながら、本地区の管水路の一部には石綿管が使用されており、管路が破損した場合には、健康被害をもたらす恐れがある。

施設は整備後30年以上経過しており、老朽化の進行に伴う管路の破損及び損壊時の路面陥没、用水の噴出による二次被害発生が懸念されることから、適切な排除・処理による速やかな更新整備を行う。

(2) 緊 急 性

既設石綿管は整備後30年以上経過しており、老朽化による管路の破損等の恐れがあり早急な対策が必要である。

第2章 地域及び地積

第1節 地域

(第1表)

事 業 名	地 域	備 考
県営特定農業用管水路等 特別対策事業	加茂郡坂祝町	

第2節 地積

R 1 年 12 月現在 (第2表)

事 業 名	現況地目	田	畑	その他	小計	山林	原野	池沼	道水路敷	非農用地	計	備 考
	市町村名	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha	
県営特定農業 用管水路等特 別対策事業	加茂郡坂祝町	118.7	95.9		214.6						214.6	かんがい受益面積
計		118.7	95.9	0.0	214.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	214.6	

注) 1. 「地積」は土地登記簿地積(畦畔地積含む)。なお、換地計画を伴う事業は実測(図上)。単位は県営事業の場合、小数点以下四捨五入。団体営事業の場合、小数点以下2位四捨五入。

2. 「合計」欄は二以上の土地改良事業の重複面積がある場合の実面積(以下各章同じ)。

第3章 現 況

第1節 気象及び海象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	美濃加茂観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備考
観測期間	1981年～2010年	5月～9月	10月～4月		
平均気温		23.3℃	8.5℃	14.6℃	
降水量	平均	215.1mm	98.3mm	146.9mm	
	基準年	-mm	-mm	-mm	
降水日数	平均	12日	9日	10日	
	基準年	-日	-日	-日	
根雪期間		-月 日～ 月 日 (日間)			
無霜期間		-月 日～ 月 日 (日間)			
最多風向		北西	最大風速 (m/s)	17.5	

国土交通省 気象庁 アメダスデータ より

2. 特殊気象

(第3表-2)

観 測 所 名		第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備 考
美 濃 加 茂 観 測 所																	
観 測 期 間		数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
1980 年～ 2020 年																	
最大日雨量	(mm)	305.0	1992.8.11		216.0	2000.9.11		206.0	1976.9.9		184.0	1976.9.9		133.0	2004.10.20		
最大時間雨量	(mm)	89.5	2017.7.14		75.0	1992.8.11		74.0	2002.6.14		69.0	1978.7.8		55.0	2010.5.25		
最大4時間雨量	(mm)																
最高気温	(° C)	39.7	2018.7.18		39.5	1994.8.7		39.2	2018.8.6		39.1	2018.8.3		39.0	2018.7.23		
最大風速・風向	(m/s)	SSE 17.5	2018.9.4		SSE 13.4	2012.4.3		S 13.0	2004.8.31		S 12.6	2017.9.18		SSE 12.6	2017.9.17		

国土交通省 気象庁 アメダスデータ より

3. 海象

該 当 な し

(第3表-3)

観測所名		既往最高潮位	さく望平均満潮位	上下弦平均満潮位	平均潮位	上下弦平均干潮位	さく望平均干潮位	既往最低潮位	備考
観測期間	年～年	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	
実測値									

注) 「海象」は海に排水する計画の場合。

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑・その他							受益地標高		備考	
	傾斜区分	1/1000	1/1000	1/100	1/20	1/11.5	計	3° 以下	3° ～ 8°	8° ～ 15°			15° ～ 20°	20° 以上	計	最高 (m)		最低 (m)
		以下	～ 1/100	～ 1/20	～ 1/11.5	～ 以上				8° ～ 10°	10° ～ 15°	8° ～ 10°						
県営特定農業用管水路等特別対策事業	面積 (ha)			118.7			118.7	95.90							95.90	73.1	53.7	
	比率 (%)			100			100	100							100			
合計	面積 (ha)			118.7			118.7	95.90							95.90			
	比率 (%)			100			100	100							100			

注) 「畑・その他」欄は開畑に係る傾斜が8°～15°の場合8°～10°、10°～15°に区分。既耕地を対象とする事業は8°～15°。

(第4表-1-2)

[illegible]

注) 「土壌統(区)名」欄は水田にあっては施肥改善事業における土壌区、畑・未墾地にあっては地力保全事業における土壌統。

該 当 な し

(第4表-1-3)

[illegible]

2. 土地分類 該 当 な し

(第4表-2-1)

級地別 市町村名		農 用 地 造 成										計 (ha)	備 考	
		1 級 地 (ha)	2 級 地				3 級 地				4 級 地			
			※ (ha)	3° ~ 8° (ha)	8° ~ 12° (ha)	12° ~ 15° (ha)	※ (ha)	15° ~ 20° (ha)	20° ~ 25° (ha)	25° ~ 30° (ha)	※ (ha)			30° 以上 (ha)

該 当 な し

(第4表-2-2)

級位別 市町村名	干 拓					備 考
	1 級 地 (ha)	2 級 地 (ha)	3 級 地 (ha)	4 級 地 (ha)	計 (ha)	
計						

3. 土地利用の状況

事業名	土地利用別 市町村別	耕 地								山 林	
		水 田		普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	桑 園 (ha)	茶 園 (ha)	そ の 他 地 樹 園 地 (ha)	用 材 林 (ha)	薪 炭 林 (ha)
		1 毛作田 (ha)	2 毛作田 以上 (ha)								
県営特定農業 用管水路等特 別対策事業	加茂郡坂祝町	118.7	-	95.9	-	-	-	-	-	-	-
合 計		118.7	0.0	95.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

注)「団体営事業の土地利用状況」は、灌漑排水、圃場整備のうち用水源、排水ポンプを設置する場合。

事業名	土地利用別 市町村別	採 草 放 牧 地	原 野	そ の 他	計	備 考
		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
県営特定農業 用管水路等特 別対策事業	加茂郡坂祝町	-	-	-	214.6	
合 計		0.0	0.0	0.0	214.6	

4. 土地所有の状況

(第4表-4)

事業名	所有別		個人所有			計	備考
	区分						
県営特定農業用管水路等特別対策事業	面積（ha）		214.6			214.6	かんがい受益面積
	受益者数（人）						
	筆数（筆）						
	権利関係						
	備考（関係戸数）						
	面積（ha）						
	受益者数（人）						
	筆数（筆）						
	権利関係						
	備考（関係戸数）						
	面積（ha）						
	受益者数（人）						
	筆数（筆）						
	権利関係						
	備考（関係戸数）						
合計	面積（ha）		214.6			214.6	
	受益者数（人）						
	筆数（筆）						
	権利関係						
	備考（関係戸数）						

注)「団体営事業」土地所有状況は、農地開発事業の場合。

第3節 水利状況

1. 用水状況

岩屋ダムを水源として加茂郡白川町にある中部電力上麻生堰堤上流の飛騨川右岸より取水している。

白川導水路、右岸幹線水路を経て蜂屋調整池に導水されている。蜂屋調整池から坂祝用水路、大針支線により坂祝東部地区に配水されている。

(1) 用水系統 (別紙現況用水系統図参照)

(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

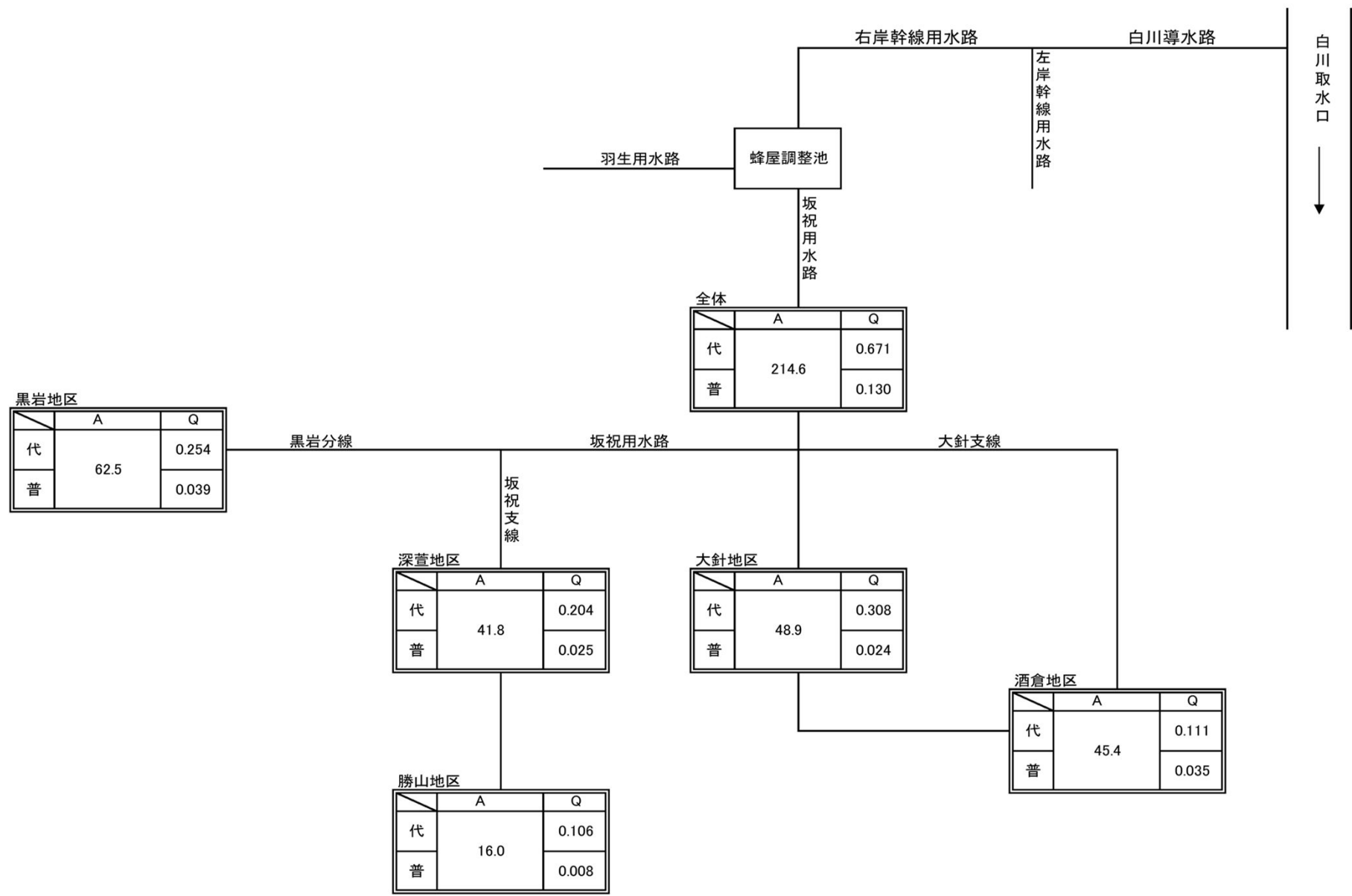
該当なし

(第5表-1)

事業名	項 目 施設名	か ん が い 面 積						計		水 利 権		慣 行 水 利 権		延取水量	備 考
		500ha以上		500ha～100ha		100ha未満									
		(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)	(箇所)	(m³/s)	(箇所)	(m³/s)	(m³/s)	
	貯 水 池														
	井 堰														
	自然取入口														
	揚 水 機														
	そ の 他														
	計														
	貯 水 池														
	井 堰														
	自然取入口														
	揚 水 機														
	そ の 他														
	計														
合 計															

注) 「施設名」欄は井堰、自然取入口、貯水池、揚水機、その他に区分。「かんがい面積」欄の () 書きは面積の重複するもの。「延取水量」欄は平均取水量の合計。

用水系統図



(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項 目	施 設 名 又 箇所数	受 益 面 積	構 造	規 模	新 設 年 又 更 新 年	改修を必要とする理由	備 考
	施設名	(箇所)	(ha)					
県営特定農業用管水路等 特別対策事業	貯 水 池							
	井 堰							
	自 然 取 入 口							
	揚 水 機							
	用 水 路	1	214.6	石綿管	AP φ 200～450 (L=3.875km) L=3.861km			
	そ の 他	1		分水柵	鉄筋コンクリート造 B4.0m×L4.3m×H8.0m			
	計	2	214.6					
	貯 水 池							
	井 堰							
	自 然 取 入 口							
	揚 水 機							
	用 水 路							
	そ の 他							
	計							
合 計		2	214.6		(L=3.875km) L=3.861km			

注) 「施設名」欄は井堰、自然取水口、貯水池、揚水機、その他に区分。用水路の「箇所数」欄は系統数、「規模」欄は末端までの延長(単位m)。

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況 該当なし

(第5表-3-1)

事業名	項目 系統名	かんがい 面 積 (ha)	現 況 必要水量 (千m³)	不 足 水 量				平均減産量 (t)	備 考
				かん が い 期		かん が い 期			
				最大不足水量	基準年	総不足水量	基準年		
				平均 (m³/s)	(m³/s)	平均 (千m³)	基準年 (千m³)		
	計								
	計								
合 計									

注) 団体営事業の場合の「不足水量」欄は基準年。「平均減産量」、「平均維持管理費」欄は記入の要なし。

(イ) その他の被害状況 該当なし

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい面積 (ha)	水温 (°C)		水質 (pH) 等	被害量 (t)	備考
			最高	最低			

注) 水温、水質の不良等に基づく被害がある場合。

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況 該当なし

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (百万円)						備考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計	
	合計										

注) 土砂崩壊は「土砂崩壊の場合の想定被害状況」。

2. 排水状況 該当なし

(1) 排水系統 該当なし

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

該当なし

(第5表-4)

事業名	項 目 施設名		排 水 面 積						計		排 水 慣 行 (m³/s)	現 況 排 水 能 力 (m³/s)	備 考
			500ha以上		500ha～100ha		100ha未満						
			(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)	(箇所)	(ha)			
	自 然	排 水 路											
		水 門											
	機 械	排 水 機											
		水 門 及 び 排 水 機											
		排 水 路 及 び 排 水 機											
	計												
	自 然	排 水 路											
		水 門											
	機 械	排 水 機											
		水 門 及 び 排 水 機											
		排 水 路 及 び 排 水 機											
	計												
合 計													

(イ) 改修要する施設の一覧表

該 当 な し

(第5表-5)

事業名	項 目 施設名		施 設 名 又 簡 所 数	受 益 面 積 (ha)	構 造	規 模	新 設 年 又 更 新 年	改 修 を 必 要 と す る 理 由	備 考
	自 然	排 水 路							
		水 門							
	機 械	排 水 機							
		水 門 及 び 排 水 機							
		排 水 路 及 び 排 水 機							
	計								
	自 然	排 水 路							
		水 門							
	機 械	排 水 機							
		水 門 及 び 排 水 機							
		排 水 路 及 び 排 水 機							
	計								
合 計									

(3) 排水に関する被害状況 該当なし

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛水状況				乾湿状況						平均減産量		備考
					湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m³)	田 (ha)		畑 (ha)		その他 (ha)		作物名	減産量 (t)	
									乾	湿	乾	湿	乾	湿			
			平均														
			基準年														
			平均														
			基準年														
			平均														
			基準年														
計			平均														
			基準年														

3. 河川状況

(1) 河川の現況 該 当 な し

(第5表-7)

項 目 河川名	流 路 状 況	勾 配	断 面	計 画 洪 水 量 (m^3/s)	既 往 最 大 洪 水 量 (m^3/s)	備 考

(2) 洪水に関する被害状況 該 当 な し

(第5表-8)

項 目 区 分	農 用 地 (百万円)	農 用 施 設 (百万円)	作 物 (百万円)	公 共 施 設 (百万円)	備 考
過去の最大被害額					
平 均 被 害 額					

第4節 道路現況 該当なし
1. 道路概況 該当なし

2. 主要道路一覧表 該当なし (第6表)

NO.	路 線 名	管 理 区 分 別	延 長 (km)	幅 員 (m)		構 造	改 修 の 要 否	備 考
				全 幅	有 効			

注) 1. 農道整備、農用地造成、干拓及び区画整備の場合（主要構造物の表も同じ）。
2. 「管理区分別」欄は、国道、県道、市町村道、農道の区分別。延長は地区内のみの延長。

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

R 1年 12月現在 (第7表-1)

項 目 市町村名	総 数 (人)	農 業 (人)	林 業 (人)	漁 業 (人)	鉱 業 (人)	建 設 業 (人)	製 造 業 (人)	卸売業 小売業 (人)	金融 保険業 (人)	運輸業 郵便業 (人)	情報 通信業 (人)	電気ガス 熱供給 水道業 (人)	教育学 習支援 業 (人)	公 務 (人)	医 療 福 祉 (人)
加茂郡坂祝町	4,318	119	8	-	2	223	1,523	18	71	189	22	18	137	88	340
計	4,318	119	8		2	223	1,523	18	71	189	22	18	137	88	340
比 率 (%)	100	2.8	0.2		0.1	5.2	35.3	0.4	1.6	4.4	0.5	0.4	3.2	2.0	7.9

第65次東海農林水産統計年報 第1概況編 III土地及び人口の部 総面積・総人口及び産業別就業人口 より

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専業別農家数

R 1 年 12 月現在 (第7表-2)

区分 市町村名	農家 総戸数 (戸)	経営耕地広狭別農家数 (戸)											1戸当たり平均農用地面積 (ha)						耕地の分散状況		主副業別農家数(戸)			備 考
		0.3 未満	0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0	10.0 ～ 20.0	20.0 ha 以上	経営 耕地 無し	田	畑	樹園地	計	草地	合計	1戸当 団地数	団地当 面積 (ha)	主業 農家	準主業 農家	副業的 農家	
加茂郡坂祝町	107	1	35	47	14	3		4	1	2		-	0.7	0.4	0.2	1.3		1.3			10	21	75	
計	107	1	35	47	14	3	-	4	1	2	-	-	0.7	0.4	0.2	1.3		1.3			10	21	75	
比 率 (%)	100	1	33	44	13	3	-	4	1	2	-		54	31	15	100	-	100			9	20	70	

第65次東海農林水産統計年報 第2農業編 2経営耕地面積規模別経営体数 (農業経営体)、Ⅲ農家等の部 1主副業別農家数 より
1戸当たり平均農用地面積はⅡ農業経営体の部 6 耕地種類別経営耕地面積から算定

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

R 1 年 12 月現在 (第7表-3)

項 目 市町村名	動 力 農 機 具								主 要 家 畜								備 考
	乗用型トラクター		動 力 防 除 機		田 植 機		コ ン バ イ ン		乳 用 牛		肉 用 牛		豚		採 卵 鶏		
	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (頭)	戸 数 (戸)	数 量 (頭)	戸 数 (戸)	数 量 (頭)	戸 数 (戸)	数 量 (千羽)	戸 数 (戸)	
加茂郡坂祝町	92	79	—	—	60	59	41	41	5,950	118	31,800	512	105,100	40	5,724	95	第65次岐阜農 林水産統計年 報では、家畜 について岐阜 県全体での統 計値となっ ている。
計	92	79			60	59	41	41	5950	118	31,800	512	105,100	40	5,724	95	
100戸当数量（台・頭）	86				56		38		5,042		6,211		262,750		6,025		
利用戸数の割合（％）	74		0		55		38										

2015年農林業センサス 2農業経営体 18農業用機械を所有している経営体数と所有台数 より
第65次東海農林水産統計年報 第2農業編 Ⅷ畜産の部 より

(R 1 年 12 月現在)
R 7 年 5 月現在 (第7表-4)

4. 主要作物作付状況

市 町 村 名			加茂郡坂祝町						計	平 均	作 付 率	備 考
総 耕 地 面 積 (ha)			(214.6) 214.6						(215) 215	(215) 215		
総 本 地 面 積 (ha)			(207.6) 207.5						(208) 208	(208) 208		
区 分 作 物 名			作付面積 (ha)	単位面積 当 収 量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当 収 量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当 収 量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当 収 量 (kg/10a)		
田	表 作	水 稻	(111.7) 111.7	(470) 463					(112) 112	(470) 463		(※第65次 東海農林水 産統計年報 より) ※第71次東 海農林水産 統計年報 より
	裏 作											
	小 計			(111.7) 111.7	(470) 463					(112) 112	(470) 463	
畑 春夏作	ト マ ト	(95.9) 95.9	(5,400) 7,440						(96) 96	(5,400) 7,440		※H19より 畑・樹園地 は計上しない
樹園地	果 樹		-	-					-	-		
	工 芸 作 物		-	-					-	-		
小 計			(95.9) 95.9	(5,400) 7,440					(96) 96	(5,400) 7,440		
そ の 他												
計			(207.6) 207.6	(5,870) 7,903					(208) 208	(5,870) 7,903		
市町村別延作付率 (%)			(96.7) 96.7						(96.7) 96.7			

5. 農業の動向 加茂郡坂祝町 R 1 年 12 月現在 (第7表-5)

項目 区分	農 家			土 地			主 要 作 物			大 家 畜			動 力 農 機 具			地 域 指 定 等	備 考
		B	A (現在)		B	A (現在)	作物名	B	A (現在)	家畜名	B	A (現在)	農機具名	B	A (現在)		
変化の状況 B 年を 100 とする指数	総農家数	100	94	耕地	100	101	水稻	100	107	乳用牛	100	-	乗用型 トラクタ	100	76		A 2015年センサス B 2010年センサス 土地は東海農林水 産統計年報におい て、県のデータの みであるため、こ れを転記する。
	主業 農家数	100	63	田	100	107	豆類 (大豆)	100	-	肉用牛	100	-	動力 防除機	-	-		
	準主業 農家数	100	100	畑	100	90	野菜	100	-	豚	100	-	スピード スプレヤー	-	-		
	副業的 農家数	100	99	樹園地	100	80	果樹	100	-	採卵鶏	100	-	動力 田植機	100	80		
	農業 従事者数	100	82	牧草他	100	150	飼肥料	-	-	ブロイ ラー	100	-	コン バイン	100	76		
変 化 の 理 由																	

2010年農林業センサス (B年)、2015年農林業センサス (A年)とした。

第6節 地域環境の概況

本地区は、岐阜県の中南部に位置し東北部は美濃加茂市、西は関市及び各務原市、南は木曽川を挟んで可児市及び愛知県犬山市に接し加茂郡の西南の位置にある。

第4章 一 般 計 画

第1節 事業計画の要旨

1. 要 旨

当該用水路管は、昭和47年～平成2年にかけて「県営圃場整備事業木曾川右岸西部二期地区」により施工された施設であり、地区内一帯の用水供給施設として重要な役割を果たしている。

しかしながら、本地区の管水路の一部には石綿管が使用されており、管路が破損した場合には、健康被害をもたらす恐れがある。

施設は整備後30年以上経過しており、老朽化の進行に伴う管路の破損及び損壊時の路面陥没、用水の噴出による二次被害発生が懸念されることから、適切な排除・処理による速やかな更新整備を行う。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地 利用 区 分 事業目的	県営特定農業用管水路等特別対策事業														合計
	水田	普通畑	牧草地	果樹園	茶園		小計	水田	普通畑	牧草地	果樹園	茶園		小計	
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)
石綿管更新	118.7	95.90	-	-	-		214.6								214.6
計	118.7	95.90	-	-	-		214.6								214.6

注) 1. 「事業目的」欄は用水改良、排水改良、畑地かんがい、区画整理、暗渠排水、客土、農道等の区分。

2. 「事業名」欄は圃場整備、農道整備、農地防災、農用地開発等事業計画名の区分。

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本地区は、水稻とトマトを中心とした営農が展開されている。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	水田	普通畑	牧草地	果樹園	茶園	その他		小計	原野	山林	その他	計	備考
	区分	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
県営特定農業 用管水路等特 別対策事業	現況	118.7	95.90	-	-	-			214.6				214.6	かんがい受益面積
	計画	118.7	95.90	-	-	-			214.6				214.6	
	現況													
	計画													
	現況													
	計画													
	現況													
	計画													
計	現況	118.7	95.90						214.6				214.6	
	計画	118.7	95.90						214.6				214.6	

3. 作付方式 該 当 な し

(第9表-2)

事業名	項目	経営類型	区分 地目	1 年 目												2 年 目												3 年 目												備 考
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
																																						○播種 △定種 ×収穫		

注) 開拓パイロットおよび畑かん事業の場合必ず記入。それ以外の事業にあたっては計画で作付体系が大幅に変更する場合のみ記載。

4. 生産計画 該当なし (第9表-3)

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産増量増減の内訳 (t)		備考	
			現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当 収量増加		
	小計																
小計																	
合 計																	

注) 「作付面積の合計」欄の () は実面積、外は延べ作付面積。(△は減を示す。)

5. 労働改善計画 該当なし

(第9表-4)

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当労働投下量 (hr/10a)				備考
				区分	現況	計画	増減	
				人 力				
				機 械 力				
				人 力				
				機 械 力				
				人 力				
				機 械 力				
				人 力				
				機 械 力				
				人 力				
				機 械 力				
				人 力				
				機 械 力				
				人 力				
				機 械 力				

注) 「作物名」欄は「4. 生産計画」に準ずる。(△は減を示す。)

6. 級地別土地利用区分 該 当 な し

(第9表-5)

土地利用区分		区 分	農 用 地 造 成 (ha)					干 拓 (ha)					備 考
		級地名	一 級 地	二 級 地	三 級 地	四 級 地	計	一 級 地	二 級 地	三 級 地	四 級 地	計	
農 地	田												
	輪 換 耕 地												
	畑												
	(普 通 畑)												
	(牧 草 畑)												
	樹 園 地												
	(果 樹 園)												
	(桑 園)												
そ の 他													
計													

7. 土地配分計画 該 当 な し

(第9表-6)

項 目 区 分		配 分 戸 数 (戸)	地 目 別 配 分 計 画 (ha)							備 考	
			田	輪 換 耕 地	畑						計
					普 通 畑	牧 草 地	樹 園 地				
増反 入植											

第3節 用水計画

1. 計画基準年

2. 計画かんがい方式 水田 湛水かんがい

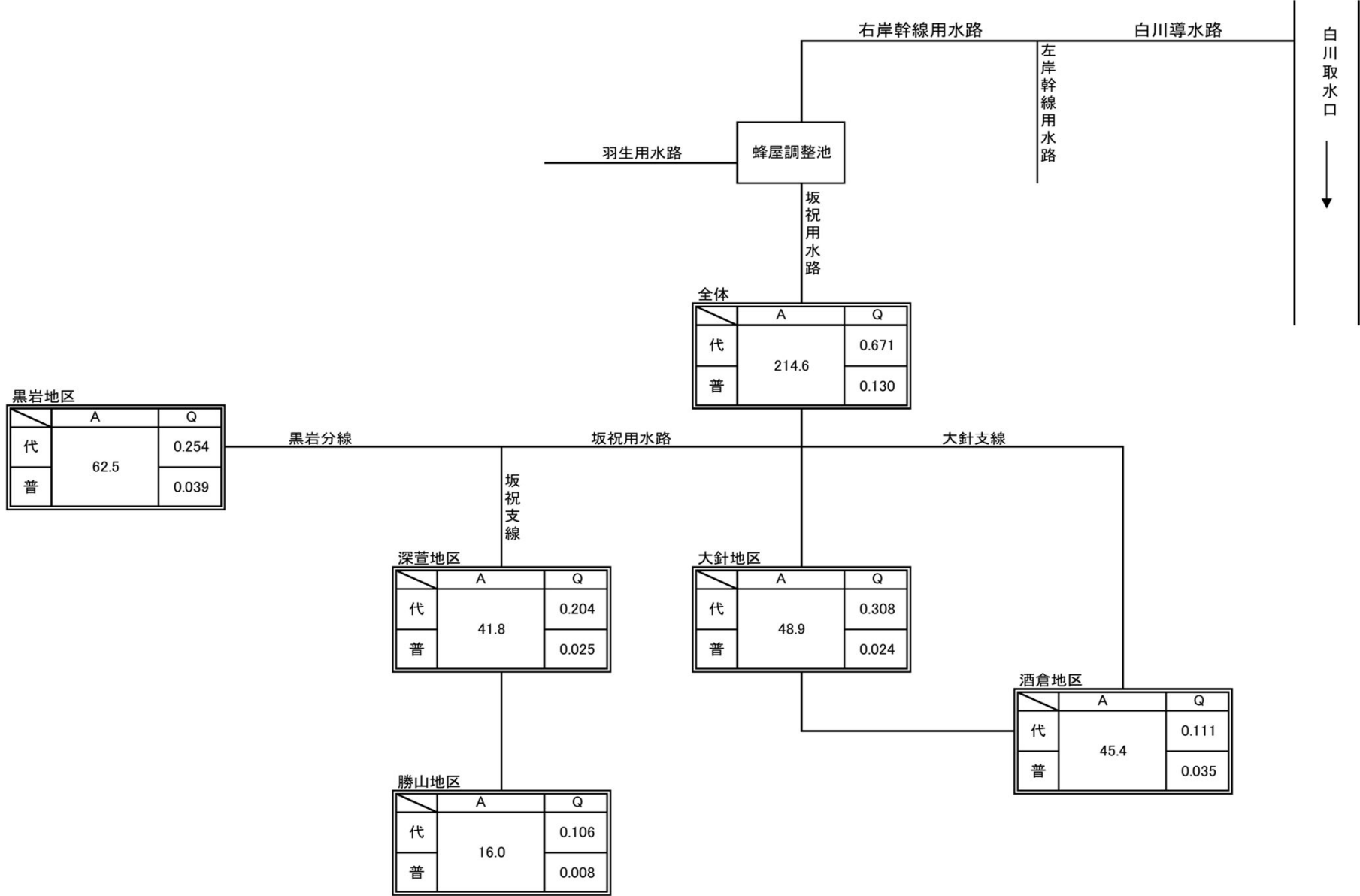
かんがい期間（水 田）

（第10表）

栽培方式	区分 期間	代 掻		用 水 補 給		備 考
		自 ～ 至	日 数	自 ～ 至	日 数	
特 早 期		～ 月	日	～ 月	日	
早 期		月 日 ～ 月 日	日	月 日 ～ 月 日	日	
普 通 期		6 月 17 日 ～ 6 月 20 日	4 日	6 月 21 日 ～ 9 月 25 日	97 日	

3. 計画用水系統（別紙計画用水系統図参照）

用水系統図



4. 計画用水量
(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別	面積 (ha)			水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費 水量 (m³/s)	損失率 (%)	粗用水量		
		事業名																平均	最大	
		県営特定 農業用管 水路等特 別対策事 業		計	普通期	代掻期	面積 (ha)	1日当 計画平均 かん水深 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)	面積 (ha)	1日当 計画平均 かん水深 (mm/日)	平均 間断 日数 (日)	面積 (ha)	計画 平均 単位 用水量 (mm/日)	面積 (ha)			平均 (m³/s)	最大 (m³/s)	
					計画 平均 単位 用水量 (mm/日)	計画 代掻 単位 用水量 (mm/日)														
酒倉地区	農業用水	45.40		45.40	26	120	45.40									10	—			0.0452
大針地区	農業用水	48.90		48.90	26	120	48.90									10	—			0.0595
深萱地区	農業用水	41.80		41.80	26	120	41.80									10	—	0.0475		
勝山地区	農業用水	16.00		16.00	26	120	16.00									10	—	0.0200		
黒岩地区	農業用水	62.5		62.50	26	120	62.50									10	—	0.0696		
計		214.60		214.60			214.60											0.242		

注) 1. 計画平均単位用水量、計画代掻単位用水量は系統別の減水深の荷重平均値、() は最大値。
2. 計画平均かん水深は畑かん期間の1回当りの平均かん水深を平均間断日数で除した値。

(2) 営農飲雑用水 該当なし

(第10表-1-2)

		対 象 面 積 (ha)			日 当 給 水 量		補 給 回 数 (回)	関 係 戸 数 (戸)	備 考
区 分	利 用 目 的	事 業 名			単位給水量 (L/日)	最大給水量 (L/日)			
				計					

5. 水源計画

(1) 水利用計画 該当なし

(第10表-2)

項 目 区 分	消費水量 a (千m ³)	有効水量 b (千m ³)	純用水量 c=a-b (千m ³)	粗用水量 d=c/(1-α) (千m ³)	現 況 利 用 可 能 水 量			不 足 量		水 源 依 存 量		水 源 工 種	備 考 損失率 : α
					水 源 名	取 水 地 点 利 用 可 能 量 e (千m ³)	ほ 場 利 用 可 能 量 f (千m ³)	純 不 足 水 量 g=c-f (千m ³)	全 不 足 水 量 h=d-e (千m ³)	水 源 名	水 量 (千m ³)		
計													

注) 1. 「区分」欄は農業用排水、区画整理、農用地造成等の分類。及び水田補水、畑かん等に細分。

2. 純用水量、田畑面利用可能量、純不足水量には損失を含まず、全不足水量には水路損失を含む。

(2) 用水対策

(ア) 貯水池 該当なし

(第10表-3)

項 目 取水池名	流 域 面 積		か ん が い 面 積 (ha)			純貯水量 (千m³)	利用貯水量 (千m³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m³/s)	備 考
	直 接 (km²)	間 接 (km²)	事 業 名							
			農村地域防災 減災事業		計					

(第 10 表-4)

[illegible]

注) 1. 「取水施設名」欄は井堰、自然取入の分類。備考欄はその型式。
2. 「取水量の平均」欄は普通期の平均。「摂水量」欄は計画基準年。

該 当 な し

(第10表-5)

[illegible]

注) 「所要水量の平均」欄は代掻期以外の平均所要水量で、24時間に換算したもの。

(エ) 用水路

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積 (ha)			最大通水量 (m³/s)	延長 (m)	構造	備考
	事業名						
	県営特定農業用管水路等特別対策事業		計				
管水路	214.6		214.6	0.242	(3,875m) 3,861	APφ200～450	
計					(3,875m) 3,861		

注) 「構造」欄はコンクリート、ブロック、管水路、土水路等の分類。

(オ) その他の水源施設 該 当 な し

(3) 水温水質 該 当 な し

第4節 排水計画

1. 計画基準雨量 該 当 な し

2. 計画排水方式 該 当 な し

3. 計画排水系統 (別紙計画排水系統図参照) 該 当 な し

(第 11 表-3)

[illegible]

(第 11 表-4)

[illegible]

(4) その他 該当なし

6. 湛水検討 該当なし

1. 道路

該 当 な し

(第 12 表-1)

[illegible]

注) 1. 「路線名」欄は地区内、地区外に区分。更に、幹線、支線、耕作(小計)に区分。

2. 農業事業で規模の大きい「農道橋」を新設、架替える場合及び「農道橋事業」の場合も上記注1で区分。

索道		該 当 な し			(第 1 2 表－ 2)
項 目	能 力	延 長	接 続 道 路 名	備 考	
路線名	(t/hr)	(m)			

2. 路線配置図 該 当 な し …………… 注) 既設道路との接続関係、計画路線名、幅員の区分。

第 6 節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画

(第 1 3 表－ 1)

(1) 農用地造成計画 該 当 な し

項 目	主 要 作 物	自 然 傾 斜	耕 地 の 形 状	標 準 区 画 の 形 状	備 考
地目名					

注) 1. 「地目」欄は「事業別面積」(第 8 表)の地目に区分。「主要作物」欄は普通畑を牧草畑、そさい畑に区分。樹園地は樹種名。

2. 「耕地の形態」欄は畑、樹園地についてのみ「改良山成畑」、「山成畑」等の別。

(2) 末端道水路配置図 該 当 な し

2. 土壌改良 該 当 な し

(第13表-2)

区 分	項 目	面 積 (ha)	土 壤 統 (区) 名	p H		置 換 酸 度 (Y ₁)	リン酸 吸収係数 (mg/100g)	ha 当 所 要 量			備 考
				H ₂ O	KCl			石灰 (t)	リン酸質資材 (t)	有機質資材 (t)	

第7節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量 該 当 な し

2. 計画洪水量及び調節量 該 当 な し

(第14表-1)

地 点	流 域 面 積 (km ²)	洪水到達 時間 (hr)	計画洪水量 (m ³ /s)	安全洪水量 (m ³ /s)	必要調節量 (m ³ /s)	ピーク時 調 節 量 (m ³ /s)	ピーク時 調節後流量 (m ³ /s)	調節後 最大流量 (m ³ /s)	調節前後の 最大流量の差 (m ³ /s)	最大調節量 (m ³ /s)	備 考

3. 貯水池 該 当 な し

(第14表-2)

貯水池名	流 域 面 積		計画洪水量 (m ³ /s)	貯 水 量			計画調整 流 量 (m ³ /s)	可能調整 流 量 (m ³ /s)	備 考
	直 接 (km ²)	間 接 (hr)		有 効 (千m ³)	洪水調節容量 (千m ³)	他 目 的 (千m ³)			

4. 洪水調節検討
- (1) 河川改修計画との関係
該 当 な し
- (2) 洪水調節が下流に及ぼす影響
該 当 な し
- (3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討
該 当 な し
5. 管理計画
- (1) 管理機構
該 当 な し
- (2) ダム管理操作上の各種基準
該 当 な し
- (3) 洪水調節要領
該 当 な し

第8節 干拓計画 該 当 な し

(第15表)

名 称	項 目	延 長 (m)	計画高潮（水）位 (T. P. m)	風向及び対岸距離 (km)	風 速 (m/s)	気 圧 (mb)	備 考

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状 該当なし

(第16表-1)

長辺×短辺 (m)	区画面積 (a)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備 考
計					

(2) 表土扱い 該当なし

(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m ³)	備 考

(3) 末端道水路配置図 該当なし

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水 該当なし

(第16表-3-1)

項目 区分	面積 (ha)			土壤統(区)名	基準雨量 (mm/day)	単位排水量 (L/s/ha)	計画後の 地下水位 (m)	集水渠出口 以下の 排水方式	備 考
	事業	業名	計						
計									

(2) 心土破碎 該当なし

(第16表-3-2)

区 分	面 積 (ha)			土 壤 統 (区) 名	土 壤 硬 度	備 考
	事 業 名					
			計			

3. 客土 該当なし

(第16表-4)

項目 区分	面 積 (ha)			土 壤 統 (区) 名	減 水 深 (mm/day)		作 土 の 厚 さ (cm)		10a当 客土量 (m³)	土 壤 の 性 質		備 考
	事 業 名				現 況 平 均	計 画 平 均	現 況 平 均	計 画 平 均		受 益 地 (%)	採 土 地 (客土材料) (%)	
			計									
計												

4. 農地保全

(1) 防災林 該当なし

(第16表-5-1)

施設名	項 目	最 大 風 速 (m/s)	幅 (m)	間 隔 (m)	備 考

(2) 排水工 該当なし

(第16表-5-2)

区分	基 準 雨 量 (mm/日)	土 性	流 出 率	排 水 量		備 考
				単 位 排 水 量 (m³/s/ha)	全 排 水 量 (m³/s)	

(3) 侵食(崩壊)防止工

該 当 な し

(第16表-5-3)

施設名	項 目	位 置	支 配 面 積 (ha)	機 能	備 考

注)「施設名」欄は主要な施設の名称、「位置」欄は水路名。

第10節 老朽ため池改修計画

該 当 な し

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量

観測所名:

日雨量

御屋敷

r 24= mm/day (1/200年確率日降雨量)

t= min

re= mm/hr

(2) 計画洪水量

洪 水 量

$$Q = \frac{1}{3.6} \times f \times r \times A \times 1.2$$

流出率 f= %

項目	型 式	計画洪水量 (m ³ /S)	越流水深 (m)	越流堰長 (m)	洪水吐能力 (m ³ /S)	ゲート巾×高(m)	備 考
池名							

2. 堤体補強計画

該 当 な し

項目	法 面 勾 配		法 面 保 護 工				漏 水 防 止 工		備考
	上 流	下 流	上 流	数量(m ²)	下 流	数量(m ²)	工 法	数量(m ³)	
池名									

3. 取水施設改修計画

該 当 な し

項目	取水量 (m ³ /S)	斜樋又は縦樋			底 樋			備 考
		型 式	径(mm)	長さ(m)	型 式	径(mm)	長さ(m)	
池名								

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池 該当なし

(第17表-1)

名 称				位 置					
堤 体	型 式	流 域 面 積 (ha)		堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 積 (千/m³)	基 盤 地 盤 地 質	貯 水 量 (千/m³)	
		直 接	間 接					総 貯 水 量	有 効 貯 水 量
洪 水 吐	型 式		洪 水 量 (m³/s)	取 水 施 設	型 式	取 水 量 (m³/s)	放 流 施 設	型 式	放 流 量 (m³/s)

2. 頭首工 該当なし

(第17表-2)

名 称	型 式	堤 高 (m)	堤 長 (m)			取 水 位 (m)	取 水 量 (m³/s)	付 帯 施 設	備 考
			固 定 部	可 動 部	計				

注) 1. 「堤高」欄は堤体底面から堤頂までの高さ、下段 () は堤頂標高。

2. 「取水位」欄は取水水門直上水位、「取水量」欄は期間最大値。

3. 「付帯施設」欄は土砂吐、取水水門（取水門のみの場合の「堤長」欄は「構造」。）

3. 揚水機 該当なし

(第17表-3)

項 目 名 称	位 置	揚 水 量 (m³/s)	揚 程 (m)		揚 水 機			原 動 機			備 考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 (HP)	台数 (台)	

4. 用水路

(第17表-4)

項目 水路名	かんがい面積 (ha)			通水量 (m³/s)	延長 (m)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名										
	県営特定 農業用管 水路等特 別対策事 業		計		開きよ	トンネル その他	計				
管水路	214.6		214.6	0.242				VUφ200～450	-	塩ビ管	
計											

注) 1. 「通水量」欄は計画通水量、「構造」欄はコンクリート、ブロック、管水路、土水路の分類。

2. 基幹用水路の他、区画整理の中の小用水路も含む。

第2節 排水施設

1. 排水水門

該当なし

(第18表-1)

項目 名称	位置	型式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 (m^3/s)	備考

注) 1. 「型式」欄はスルース等その機能による分類、「構造」欄はゲート規模、数量。

2. 「内水位」欄は地区内の水門に接した計画最高水位、「外水位」欄は水門外側の計画最高水位。

2. 排水機 該当なし

(第18表-2)

項目 名称	位置	排水量 (m^3/s)	揚程 (m)		排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 (HP)	台数 (台)	

注) 「排水量」・「揚程」欄は計画値、「排水機の型式」欄は軸流、渦巻等の種別、「原動機の型式」欄は電動機、内燃機関の別。

3. 排水路 該当なし

(第18表-3)

項目 水路名	受益面積 (ha)			排水量 (m^3/s)	延長 (m)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名				開きよ	トンネル その他	計				
			計								
計											

注) 1. 「排水量」欄は計画排水量、「構造」欄はブロック・コンクリート柵渠・コンクリートU・V字溝・土水路の分類。

2. 基幹用水路の他、区画整理の小排水路も含む。

4. その他排水施設 該当なし

1. 道路

該 当 な し

(第 19 表-1)

[illegible]

注) 1. 「区分」欄は地区内、地区外、更に幹線、支線の区分。

2. 「構造」欄は路床改良、舗装厚、材料等、「付帯構造物」欄は暗渠等で道路主要構造物以外。

(2) 道路主要構造物 該当なし

(第19表-2)

路線名	項目	名称	規模	構造	延長 (m)	箇所数 (箇所)	備考

注) 主要構造物は道路の一部で道路としての機能を持つトンネル、橋等。(橋はスパン5m以上)

2. 索道 該当なし

(第19表-3)

名称	項目	延長 (m)	高低差 (m)	能力 (t/hr)	原 動 機		備考
					型 式	動 力 (HP)	

第4節 農用地造成

1. 農用地造成

(1) 抜根 該当なし

(第20表-1)

区分	項目	樹 種	樹 径 (cm)	ha 当 本 数 (本/ha)	面 積 (ha)	工 法	備考

(2) 除礫 該当なし

(第20表-2)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha 当 標 準 除 礫 量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備考

(3) 開墾作業 該当なし

(第20表-3)

区分	項目	面積 (ha)	工 法	備 考
地 目	造成工法			

(4) 地目変換 該当なし

(第20表-4)

区分	項目	面積 (ha)	工 法	備 考

(5) 末端用水路等 該当なし

(第20表-5)

区分	項目	数 量	規 模	構 造	備 考

(6) 末端排水路等 該当なし

(第20表-6)

区分	項目	数 量	規 模	構 造	備 考

2. 土壌改良 該当なし

(第20表-7)

区分	項目	面積 (ha)	石 灰 量 (t)	リン酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備 考

第5節 洪水調節機能

1. 貯水池

2. 頭首工及び導水路

(1) 頭首工 該当なし

(第21表-2)

名 称		位 置					備 考	
型 式	集 水 面 積 (km ²)	堤 高 (m)	堤 長 (m)			計 画 洪 水 位 (m)		付 帯 施 設
			固 定 部	可 動 部	計			

(2) 導水路

該 当 な し

(第21表-2)

項 目 水路名	通 水 量 (m^3/s)	延 長 (m)			構 造	勾 配	備 考
		トンネル	そ の 他	計			

第6節 干拓施設

1. 堤防

該 当 な し

(第22表-1)

項 目 名 称	型 式	延 長 (m)	構 造					原 地 盤 標 高 (m)		備 考
			堤 頂 標 高 (m)	盛 土 幅 (m)	盛 土 標 高 及び 舗 装	上 流 斜 面	下 流 斜 面	平 均	最 低	

2. 潮止め

該 当 な し

(第22表-2)

項 目 名 称	工 法	幅 員 (m)	敷 高 標 高 (m)	潮 止 め 堤 標 高 (m)	最 大 流 速 (m/s)	床 固 め 構 造	備 考

3. 付属施設

該 当 な し

4. 埋立

該 当 な し

(第22表-3)

項 目 区 分	面 積 (ha)	埋 立 標 高 (m)	埋 立 土 量 (m^3)	施 工 方 法	備 考

第7節 農用地施設整備

1. 区画整理

(1) 区画整理 該当なし

(第23表-1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工 量		表 土 扱 い		備 考
		標 準 区 画	土 量 (m³)	面 積 (ha)	土 量 (m³)	

(2) 末端用水路等 該当なし

(第23表-2)

区 分	項 目	数 量	規 模	構 造	備 考

(3) 末端排水路等 該当なし

(第23表-3)

区 分	項 目	数 量	規 模	構 造	備 考

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水 該当なし

(第23表-4-1)

項目 区分	受益面積 (ha)			集 水 渠				排 水 渠						集水渠出口以下の排水施設		
	事 業 名															
			計	勾 配	管 種	管 径 (mm)	延 長 (m/ha)	勾 配	管 種	管 径 (mm)	深 さ (m)	間 隔 (m)	延 長 (m/ha)	名 称	構 造	数 量

(2) 心土破碎 該当なし

(第23表-4-2)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当標準除礫量 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工 法	備 考

3. 客土 該当なし

(第23表-5)

区 分 \ 項 目		面 積 (ha)			客 入 土 量 (m³)	土 取 場 土 量 (m³)	運 搬 距 離 (km)	運 搬 方 法	備 考
		事 業 名							
				計					

4. 除礫 該当なし

(第23表-6)

区分	項目	対象土層の厚さ (cm)	ha当標準除礫量 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工 法	備 考

5. 農地保全
(1) 防災林 該当なし

(第23表-7)

区分	項目	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹 種	植栽本数 (本)	備 考

(2) 排水路 該 当 な し

(第23表-8)

区 分	項 目	延 長 (m)	流 量 (m ³ /s)	構 造	備 考

(3) 侵食防止工 該 当 な し

(第23表-9)

名 称	項 目	構 造	数 量	備 考

第8節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池 該 当 な し

(第24表)

美濃加茂市山岡町上手向									
名 称				位 置					
堤 体	型 式	流 域 (km ²)	堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 積 (m ³)	堤 頂 幅 (m)	貯 水 量 (千m ³)	備 考	
洪 水 吐	型 式	洪 水 量 (m ³ /s)	規 模 (m)	備 考	取 水 施 設	型 式		取 水 量 (m ³ /s)	備 考
						斜樋 底樋			

2. 堤体補強施設

(1) のり面保護施設 該 当 な し

位 置	種 類	工 法	数 量	備 考

(2) 漏水防止工 該 当 な し

位 置	種 類	工 法	数 量	材料組成	備 考

第6章 附帯工事計画

該 当 な し

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

1. 工期
着工予定 令和 2 年度 完了予定 (令和 6 年度)
令和 10 年度

2. 工事の年度割予定 単位：千円

年 度	全 体	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
	(457,000)	(42,000)	(103,800)	(103,800)	(103,800)	(103,600)				
	658,600	29,400	182,800	154,100	600	35,400	65,000	65,000	65,000	61,300
割合 (%)	(100)	(9)	(23)	(23)	(23)	(23)				
	100	4	28	23	0	5	10	10	10	9

第8章 環境との調和への配慮

環境配慮のコンセプト1：「動植物の生息環境を保全する」「健康障害の発生予防」

- ・影響緩和の方法：移動を行う動植物の生息環境をパイプライン上部の環境を現況と同等にし、生息する生物の生息環境を保全する
- ・選定理由：整備する箇所には希少生物は生息しておらず、一般的な動物、植物のみ生息していることから、従前の生息環境を保全する

環境配慮のコンセプト2：「健康障害の発生予防」

- ・影響緩和の方法：石綿予防規則ならびに関係法令の遵守（石綿対策の手続き参照とする）
- ・選定理由：石綿による健康被害の防止

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画の基本的事項 該 当 な し

第2節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積 該 当 な し (第25表-1)

換 地 区 名	換 地 区 の 所 在	面 積 (ha)

注) 「換地区の所在」欄は当該換地区の市町村、大字(字、町)。「面積」欄は小数点以下2位を四捨五入。

2. 換地区を設定する理由 該 当 な し

第3節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の面積の基準 該 当 な し (第25表-2)

換 地 区 名	地 積 の 基 準

注) 「地積の基準」欄は、「事業主体、市町村等が行う実測による地積」「土地改良事業に係る計画概要の公告の日の登記簿地積」、「土地改良事業計画決定(認可)の日の登記簿地積」。
「国土調査法による地積調査に基づく登記が完了している土地にあっては土地改良事業計画の認可の日の登記簿地積」の別。

2. 用途別予定地積 該 当 な し

単位：ha （第25表－3）

換地区名	用途 (取得予定者) 前後	非農用地域外に換地する土地																	機能交換に係る土地				一般 国 公 有 地	総 合 計							
		田	畑	山林 原野	その他	通常事業施行地域に 含める土地 (令第1条の9() 書き)			計	本業によって生ずる 土地改良施設用地			創設 農用地	合計	特定用途用地			異種目 換地	創設非農用地						合計	国	県	市町村 他	合計		
						土地 改良 施設	その他	小計		改良区	その他	計			宅地	その他	計		農業 経営 合理化 施設 用地	生活上 経営上 必要な 施設 用地	公用 公共用 施設 用地	宅地等								計	
	従前の 土地																														
	換地																														
	従前の 土地																														
	換地																														
	従前の 土地																														
	換地																														
	従前の 土地																														
	換地																														
	従前の 土地																														
	換地																														
	従前の 土地																														
	換地																														
	従前の 土地																														
	換地																														
合計	従前の 土地																														
	換地																														

3. 農用地集団化の方針 該 当 な し

(第25表-4)

換地地区名	項目 地帯別、グループ別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	一戸当目標団地数	区画畦畔の取扱い

4. 非農用地換地の方法 該 当 な し

(第25表-5)

換地 項目	用途	非農用地区域の位置の概略		面積 (m ²)	換地の手法	換地取得予定者	その他

第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法 該 当 な し

2. 清算の方法 該 当 な し

第5節 換地計画樹立の年度計画 該 当 な し

(第25表-6)

換地 項目	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換地処分予定年度	備考

第6節 換地処分の時期に関する特則 該 当 な し

第 10 章 事業費の総額及び内訳

(第 26 表)

1. 事業費の総額	(493,000)
	709,100 千円
2. 事業費の内訳	
工事費	(457,000)
	658,600 千円
工事雑費及び地方事務費	
	(36,000) 千円
	50,500 千円

工 種	事 業 量	事 業 費 (千円)		備 考
純工事費		(404,000) 588,700		
工 事 費	1 式	(404,000) 588,700		
測 量 試 験 費		(42,000) 58,900		
用 地 補 償 費		(11,000) 11,000		
事 業 費 計		(457,000) 658,600		工事費+測量試験費 +用地補償費
工 事 雑 費		(12,000) 16,500		
小 計		(469,000) 675,100		事業費+工事雑費
地 方 事 務 費		(24,000) 34,000		
合 計		(493,000) 709,100		小計+地方事務費

第 1 1 章 効 用

(第 2 7 表)

区 分 効果項目	県営特定農業用管水路等特別対策事業					
	年 総 効 果 額 (千円)	年総増加所得額 (千円)	年 総 効 果 額 (千円)	年総増加所得額 (千円)	年 総 効 果 額 (千円)	年総増加所得額 (千円)
作物生産効果	(289, 820) 378, 099	(324, 139) 381, 341				
品質向上効果	(16, 240) 17, 472	(16, 240) 17, 472				
営農経費節減効果	(△ 2, 035) △ 2, 177	- -				
維持管理費節減効果	(△ 18, 021) △ 24, 043	(1, 974) 2, 193				
水源涵養効果	(6, 899) 9, 243					
国産農産物安定供給効果	(37, 940) 35, 261					
計	(330, 843) 413, 855	(342, 353) 401, 006				
総 便 益 額	(6, 848, 770) 11, 223, 483					
総 費 用 総 便 益 比	(1. 64) 1. 92					
総 所 得 償 還 率 (%)	(0. 4) 0. 4					
増 加 所 得 償 還 率 (%)	-					

第 1 2 章 関連する事業

(第 2 8 表)

事 業 名	計 画 概 要	受 益 面 積 (ha)	総 事 業 費 (千円)	工 期	前年度進捗率 (%)	本 事 業 と の 関 連 性
県営特定農業用管水路等特別対策事業	坂祝西部地区の用水路更新	214. 6	(426, 000) 534, 000	R6 ～ R10		

第 1 3 章 現況・計画図面

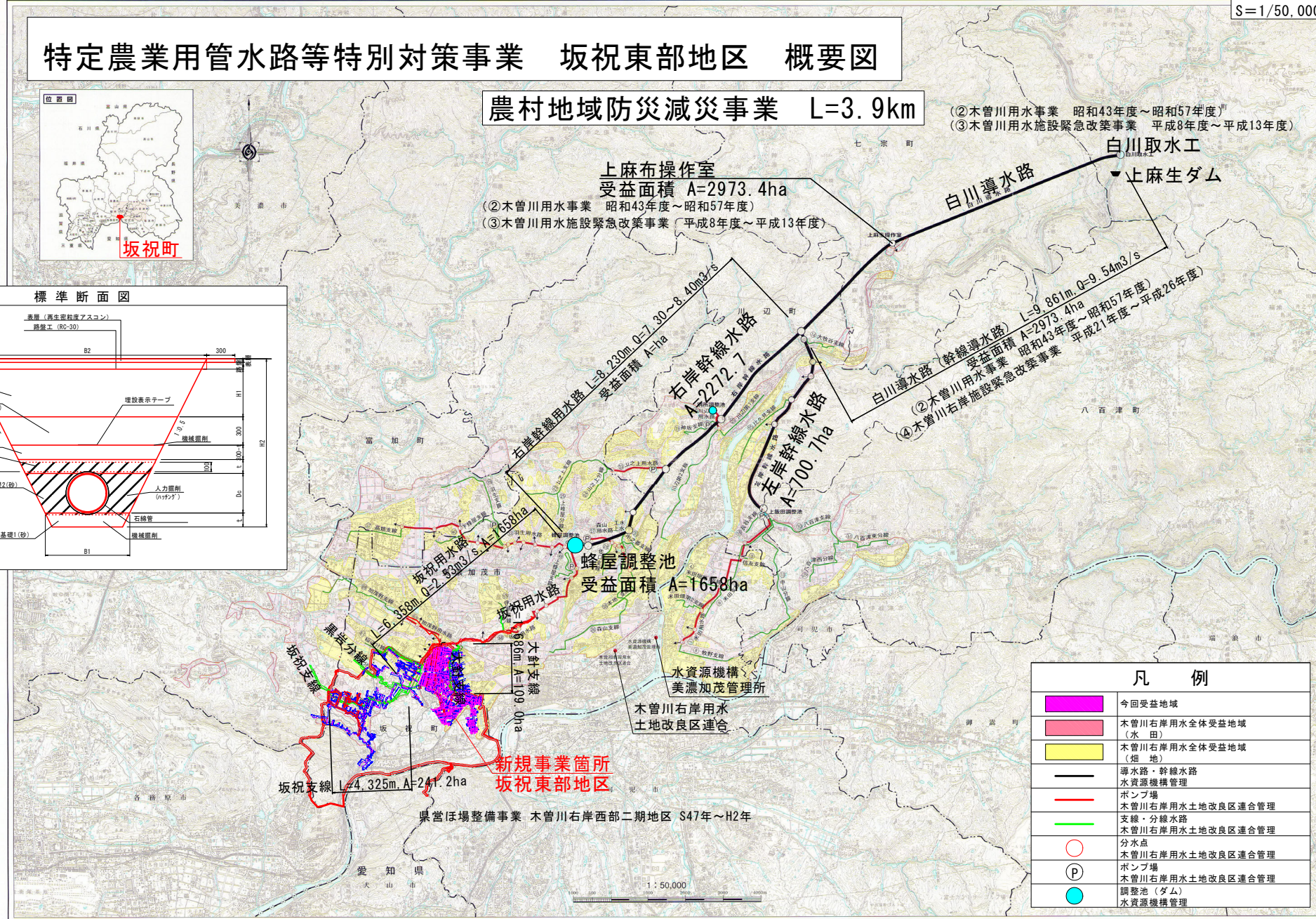
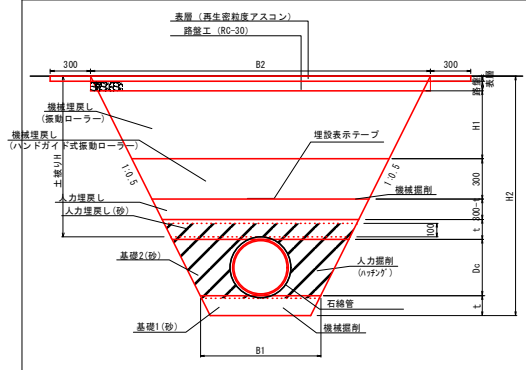
別紙による

特定農業用管水路等特別対策事業 坂祝東部地区 概要図

農村地域防災減災事業 L=3.9km



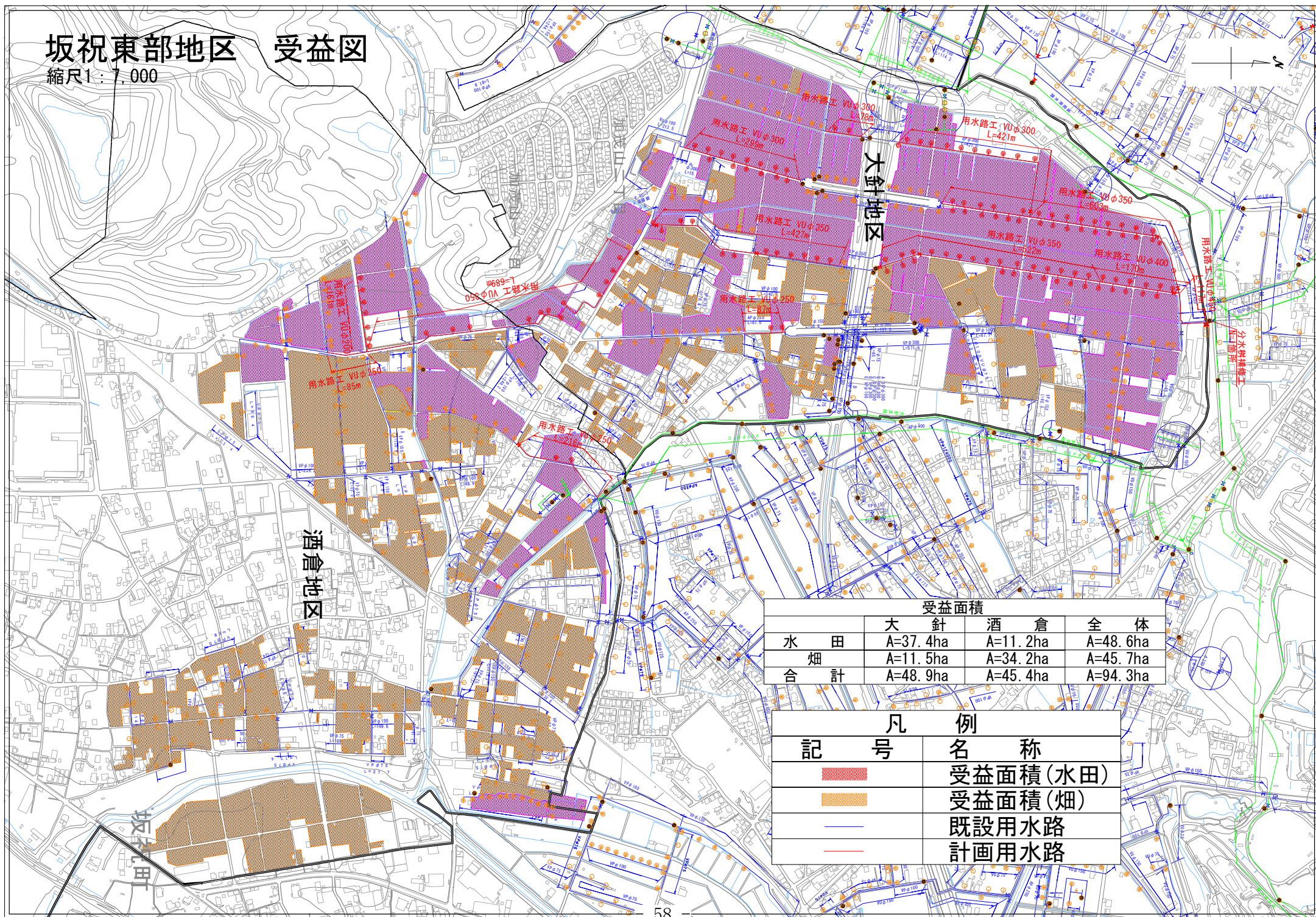
標準断面図



凡 例	
 	今回受益地域
 	木曾川右岸用水全体受益地域 (水田)
 	木曾川右岸用水全体受益地域 (畑地)
—	導水路・幹線水路
—	水資源機構管理
—	ポンプ場
—	木曾川右岸用水土地改良区連合管理
—	支線・分線水路
—	木曾川右岸用水土地改良区連合管理
○	分水点
○	木曾川右岸用水土地改良区連合管理
○	ポンプ場
○	木曾川右岸用水土地改良区連合管理
○	調整池 (ダム)
○	水資源機構管理

坂祝東部地区 受益図

縮尺1:7,000

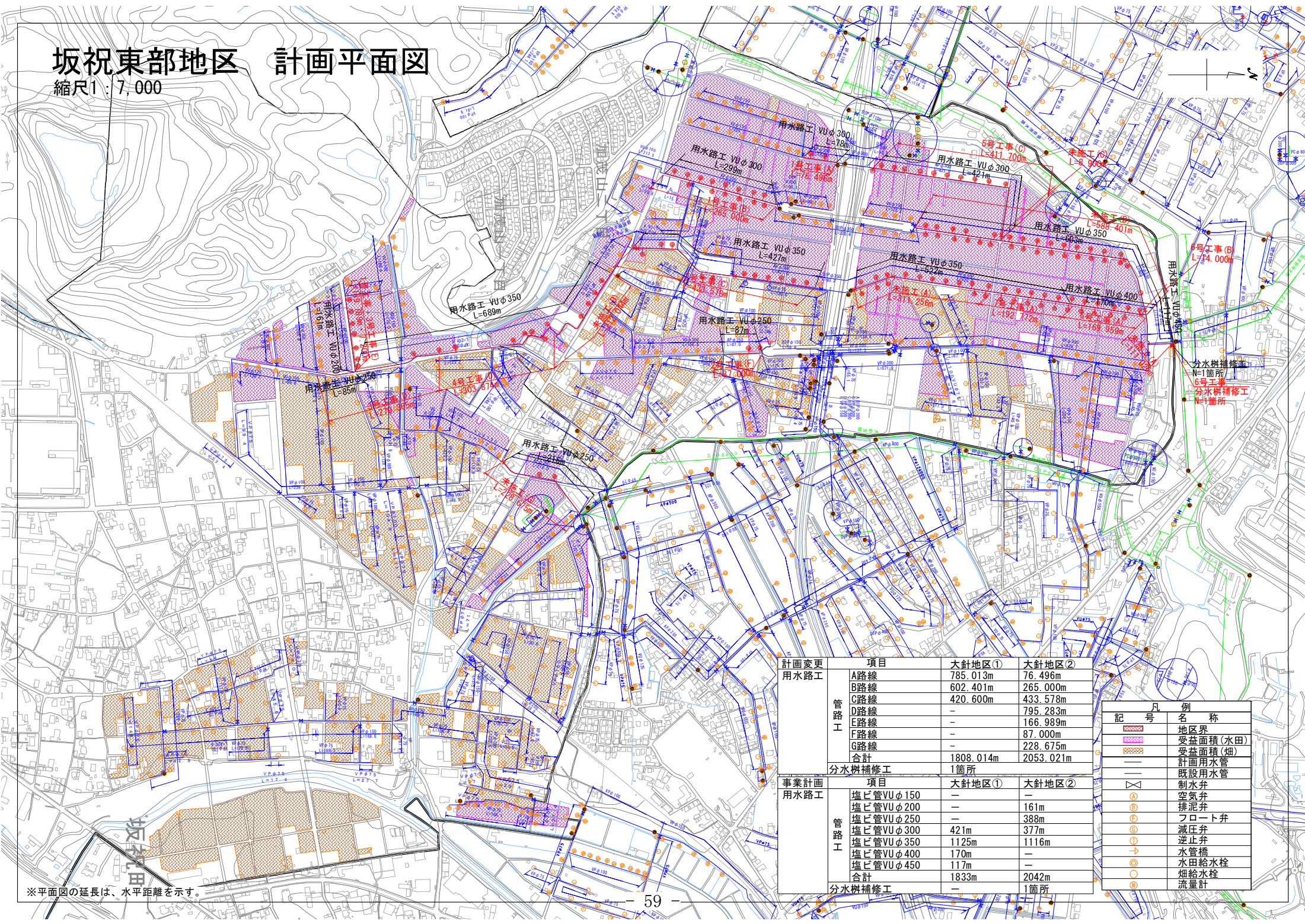


受益面積			
	大 針	酒 倉	全 体
水 田	A=37.4ha	A=11.2ha	A=48.6ha
畑	A=11.5ha	A=34.2ha	A=45.7ha
合 計	A=48.9ha	A=45.4ha	A=94.3ha

凡 例	
記 号	名 称
	受益面積(水田)
	受益面積(畑)
	既設用水路
	計画用水路

坂祝東部地区 計画平面図

縮尺1：7,000



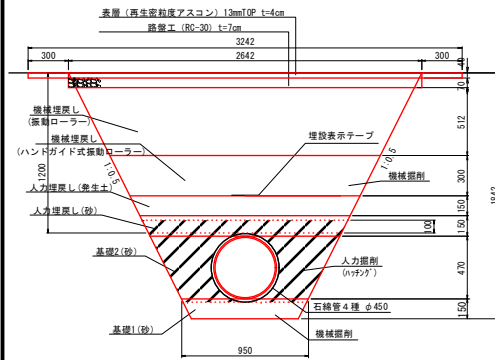
計画変更		項目	大針地区①	大針地区②
用水路工	管路工	A路線	785.013m	76.496m
		B路線	602.401m	265.000m
		C路線	420.600m	433.578m
		D路線	-	795.283m
		E路線	-	166.989m
		F路線	-	87.000m
		G路線	-	228.675m
		合計	1808.014m	2053.021m
分水桝補修工		1箇所		
事業計画		項目	大針地区①	大針地区②
用水路工	管路工	塩ビ管VUφ150	-	-
		塩ビ管VUφ200	-	161m
		塩ビ管VUφ250	-	388m
		塩ビ管VUφ300	421m	377m
		塩ビ管VUφ350	1125m	1116m
		塩ビ管VUφ400	170m	-
		塩ビ管VUφ450	117m	-
		合計	1833m	2042m
分水桝補修工		-	1箇所	

記 号	凡 例	名 称
—	地区界	地区界
—	受益面積(水田)	受益面積(水田)
—	受益面積(畑)	受益面積(畑)
—	計画用水管	計画用水管
—	既設用水管	既設用水管
⊗	制水弁	制水弁
⊙	空気弁	空気弁
⊕	排泥弁	排泥弁
⊖	フロート弁	フロート弁
⊗	減圧弁	減圧弁
⊕	逆止弁	逆止弁
→	水管橋	水管橋
○	水田給水栓	水田給水栓
○	畑給水栓	畑給水栓
⊙	流量計	流量計

※平面図の延長は、水平距離を示す。

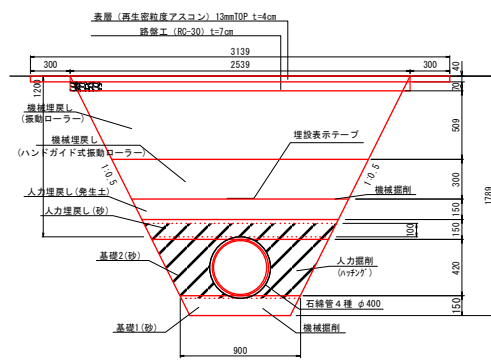
標準断面図

塩ビ管φ450



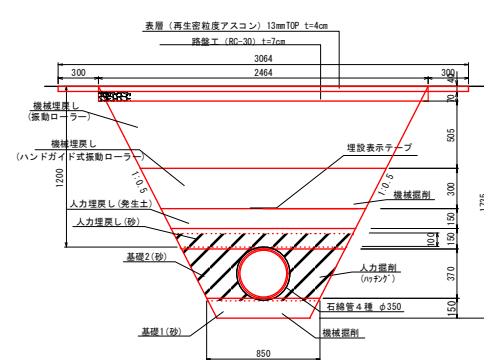
機械掘削	2.3
人力掘削	0.6
基礎1(砂)	0.1
基礎2(砂)	0.4
人力埋戻し(砂)	0.2
人力埋戻し(発生土)	0.2
機械埋戻し (ハンドガイド式振動ローラー)	0.6
機械埋戻し(振動ローラー)	1.2
基面整正	0.8

塩ビ管φ400



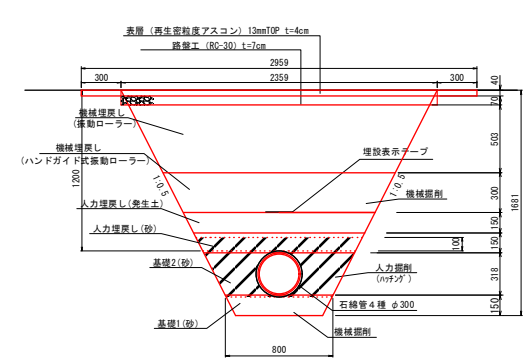
機械掘削	2.2
人力掘削	0.5
基礎1(砂)	0.1
基礎2(砂)	0.3
人力埋戻し(砂)	0.2
人力埋戻し(発生土)	0.2
機械埋戻し (ハンドガイド式振動ローラー)	0.5
機械埋戻し(振動ローラー)	1.1
基面整正	0.8

塩ビ管φ350



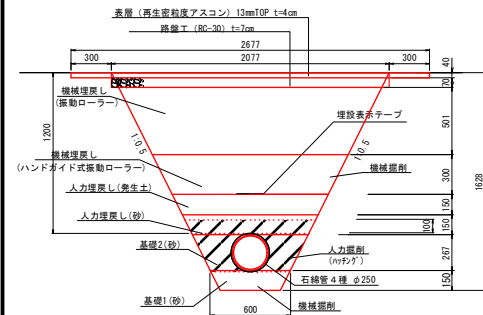
機械掘削	2.1
人力掘削	0.4
基礎1(砂)	0.1
基礎2(砂)	0.3
人力埋戻し(砂)	0.2
人力埋戻し(発生土)	0.2
機械埋戻し (ハンドガイド式振動ローラー)	0.5
機械埋戻し(振動ローラー)	1.1
基面整正	0.7

塩ビ管φ300



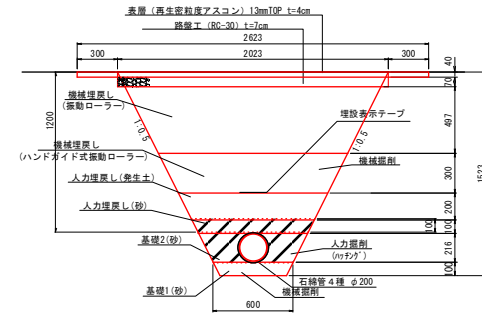
機械掘削	1.9
人力掘削	0.4
基礎1(砂)	0.1
基礎2(砂)	0.2
人力埋戻し(砂)	0.2
人力埋戻し(発生土)	0.2
機械埋戻し (ハンドガイド式振動ローラー)	0.5
機械埋戻し(振動ローラー)	1.0
基面整正	0.6

塩ビ管φ250



機械掘削	1.6
人力掘削	0.2
基礎1(砂)	0.1
基礎2(砂)	0.1
人力埋戻し(砂)	0.1
人力埋戻し(発生土)	0.2
機械埋戻し (ハンドガイド式振動ローラー)	0.4
機械埋戻し(振動ローラー)	0.9
基面整正	0.4

塩ビ管φ200



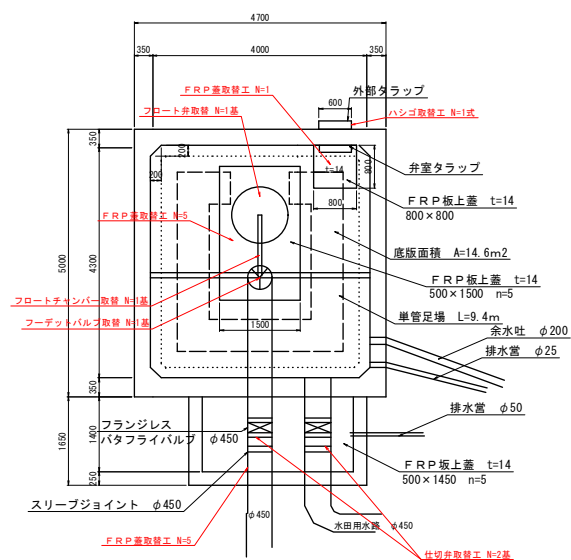
機械掘削	1.6
人力掘削	0.2
基礎1(砂)	0.1
基礎2(砂)	0.1
人力埋戻し(砂)	0.1
人力埋戻し(発生土)	0.2
機械埋戻し (ハンドガイド式振動ローラー)	0.4
機械埋戻し(振動ローラー)	0.8
基面整正	0.5

業務名	県営特定農業用管水路等特別対策事業 木曾川右岸用水坂祝地区 事業計画策定業務		
路線名	農業用管水路(坂祝町東部地区)		
施工箇所名	加茂郡坂祝町地内		
図面の種類	標準断面図		
縮尺	1:20	図面番号	業之内
会社名	大同コンサルタント株式会社		
事務所名	岐阜県可茂農林事務所		

分水柵補修工構造図

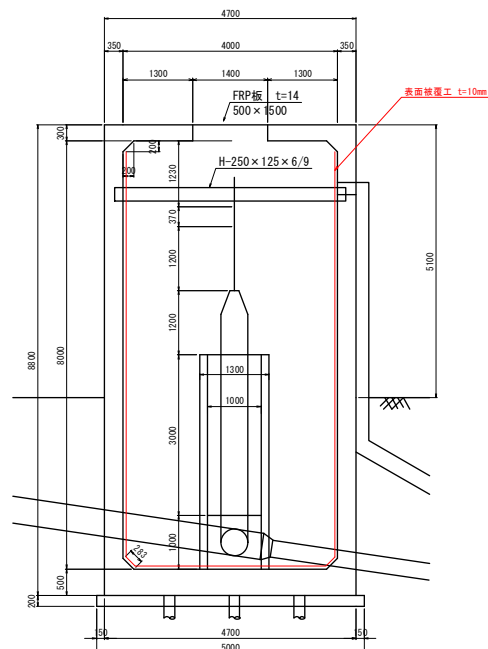
平面图

S=1:50



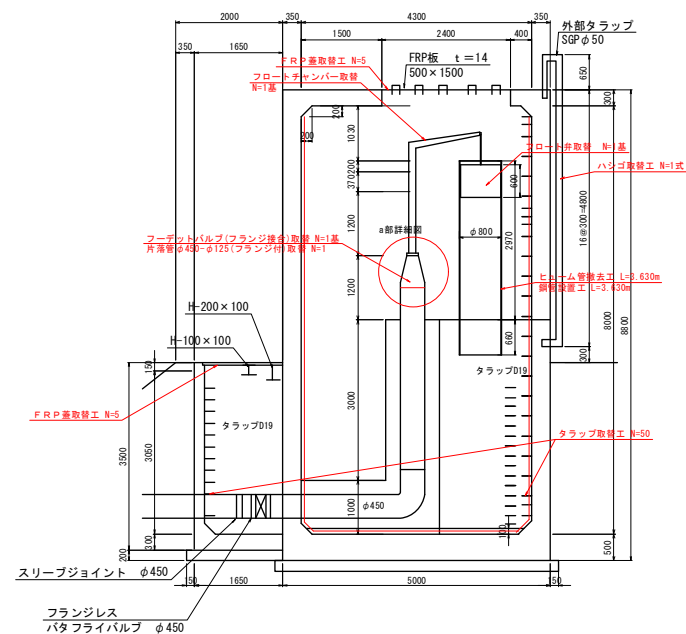
断面図

S=1:50

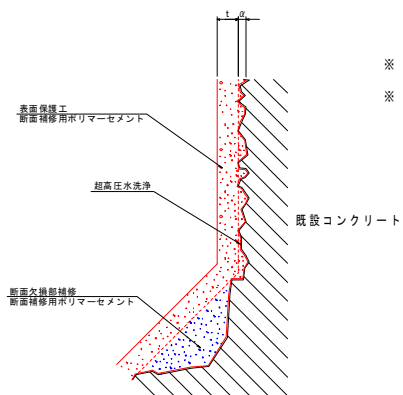


側面図

S=1 : 50



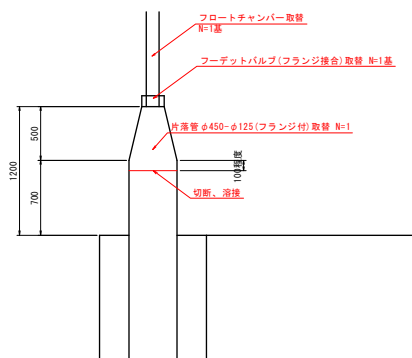
表面保護工詳細図



※ t は表面保護工基準厚さとし、
α は、欠損部補修厚さとする。
※ 断面欠損部は、別途数量を算出する。

a部詳細図

S=1:25



業 務 名	県営特定農薬用管路等特別対策事業 美山川右岸用水坂地区 事業計画策定業務
路 線 名	農薬用管路(坂祝町東部地区)
施工箇所名	加茂郡坂祝町地内
図面の種類	分水樹補修工構造図
縮 尺	図 示 図面番号 業之内
会 社 名	大同コンサルタンツ株式会社
事務所名	岐阜県可茂農林事務所